

春日部地区浦高会も20周年へ!

● 記念誌づくりを企画して!

日曜日の「春日部地区浦高会総会」において、来年の第20回総会に向けて**創立20周年事業『(仮称)春日部地区浦高会 創立20周年記念誌』**の作成が承認されました。編集委員は鳥井隆一郎副会長(11回)と林亮平幹事(52回)と私の3人です。鳥井さんは同期の「辰巳会」で還暦記念誌「**広き宇内に～浦高ルネッサンスから新世紀へ**」(2001年5月26日発行)、古希記念誌「**広き宇内にII～新世紀から十年**」(2012年12月3日発行)をまとめられた中心人物で、今回も大所高所からのご指導を期待しております。また、林さんには同窓会の歴史の伝承を含めてさまざまなことを勉強してもらいたいと考えています。



〔辰巳会還暦記念誌〕

〔辰巳会古希記念誌〕

この記念誌づくりのアイデアは、幹事会の席上で事務局長の竹内透さん(44回)から「香田さんの昨年のスピーチ『同窓会にどっぷり浸かって17年』を伺って、春日部地区浦高会の設立経過やさまざまな活動経過を伺って、自分たちが加入する前のことを知ることができましたが、ぜひ、しっかりとした書類で残しておきたいので、創立20周年の記念事業で記念誌を作りましょう」という提案が出され、幹事一同の同意をいただき、総会に事業計画として提案させていただきました。

これまでも、会員の皆様から会員スピーチ等で仕事のことやご自身の経歴などのお話をいただいていますので、そうしたものもまとめながら記念誌作りを進めたいと考えています。ただ、会報『喫茶去』を323号も綴っているのでも、こうした資料の扱いも微妙ですね。概略スケジュールは下記の通りです。

〔概略スケジュール〕

- 元年 9月～10月 編集会議〔方針立案・確定〕
- 11月～2月 会員からの原稿募集
- 2年 3月～5月 原稿作成・校正
- 6月～7月 印刷・完成



そんな中、杉戸町で産婦人科医院を開かれていらっしゃる長岡成郎さん(11回)からお手紙と資料を頂戴しました。

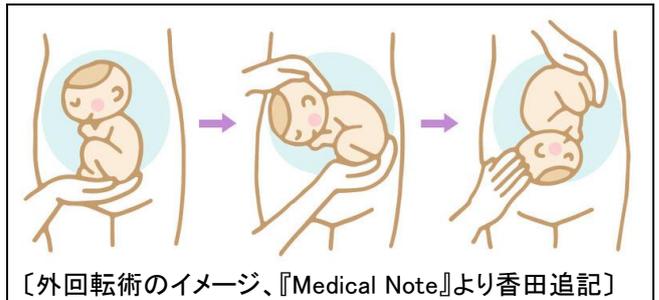
「当院は昭和49年9月産婦人科を開業以来、45年になります。おかげさまで現在も産科を5ベッドと小規模ながら継続しております。平成8年より骨盤位外回転術を、平成12年より硬膜外麻酔による無痛分娩を導入し、今も無事に継続中です。外回転は23年、無痛分娩は19年になりますので、この機会に少し整理をして、ささやかながらまとめてみました」

早速、資料を拝見するとともに、長岡産婦人科医院のホームページを開いてみると…。



■ 外回転

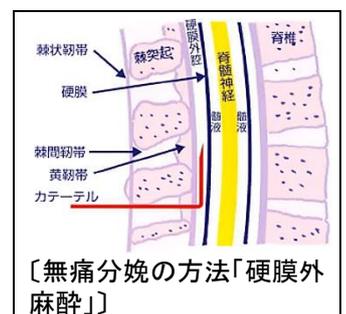
子宮の中での胎児の正常な向きは頭が下でお尻が上になっている「頭位」の状態を言います。反対に頭とお尻の位置が逆になった状態、お尻が下で頭が上に来た状態を骨盤位(逆子)と呼びます。胎児のほとんどが頭位で、出産のときそのまま頭から生まれてきます。骨盤位が、いわゆる逆子と呼ばれる姿勢です。逆子を治し、帝王切開分娩のリスクを回避するための選択肢が「骨盤位外回転術」です。



〔外回転術のイメージ、『Medical Note』より香田追記〕

■ 無痛分娩

初産の人の陣痛の苦しみは相当なものがあります。数分おきの強い子宮収縮が10数時間続くわけですから、動物の分娩に比べそのつらさは何倍にもなります。そうした分娩時の痛みをやわらげる方法として無痛分娩があります。無痛分娩は、硬膜外麻酔というものを使用して行います。硬膜外麻酔は、背中からごく細いビニール製の軟らかいカテーテル(管)を硬膜外腔というところに入れて局所麻酔薬を注入する方法です。カテーテルが、きちんと決められたところに入っているかは二重三重にチェックし確認しながら行います)ほとんど痛みもありません。



〔無痛分娩の方法「硬膜外麻酔」〕

◇ 資料には症例数なども載っています。